

ラグビーワールドカップが2023年9月8日（金）から10月28日（土）までフランスで開催されます。1987年に第1回大会が開催され、以後4年ごとに行われ、今回で第10回となります。

日本代表「ブレイブ・ブロッサムズ」は、第1回大会から連続して参加しており、前回2019年の母国開催において初のベスト8に進出しました。

8月15日には日本代表登録メンバー33名のうち30名が発表されました。9月10日（日）に迎える第1戦では、初出場で燃えるチリ代表と対戦します。

日本代表の活躍に期待したいですね。

パイプシステム通信編集部

【御礼】2023年8月1日～4日 下水道展'23札幌

（公益社団法人 日本下水道協会 主催）

「下水道展'23札幌」が2023年8月1日から4日間、札幌ドームで開催されました。



多くのお客様にご来場いただき誠にありがとうございました。

←当日の様子

シールド内配管用 US形ダクタイル鉄管（R方式）

大口径の基幹管路の工事は、交通事情が考慮され、道路下に構築したシールドトンネル内で配管されることが多く、これまでUS形（LS方式）が用いられてきました。

弊社が開発した耐震型ダクタイル鉄管US形（R方式）は、従来のUS形（LS方式）と同等の性能を維持しつつ、新たな継手構造や角度付直管、複数本同時搬送工法の開発により、低コストかつ施工性が向上した製品です。（対応管種は呼び径1500～2600）

US形（R方式）では、ゴム輪の形状改良とスペーサを用いることで、モルタル充填やボルト管理が不要となりました。さらに、継手付属品点数の低減や受口寸法の短縮などにより、接合部品が軽量化。管路布設費の低減と施工性の向上を実現させた新しい継手構造になっています。

また、トンネルの曲線区間に対応した製品として、直管の受口内面を斜めに形成した「角度付直管」と異形管のショートボディ化を新たにラインアップ。曲線部の管材料費を低減させ、直管のコストダウンを含め、管路全体の布設費の削減が見込めます。

本製品にご興味がありましたら、どうぞお気軽に各営業担当までお問合せください。



＜ 現場の様子 ＞



施工情報システムⅡ

弊社では事業者様をはじめ、販売店様、工事業者様に対して「施工情報システムⅡ」の説明会を幅広く開催しております。

～ 工事業者様の取組 ～

昨今、水道・土木業界においても働き方の見直しが本格的に進み、週休二日制などへの取組が進んでいる中、日中に現場に出て夕方から書類を作成するという従前の流れに対し、何か打つ手がないか模索していたところ、「施工情報システムⅠ」のPRを㈱クボタから受けました。

このPRを受けた中で、これらの課題を解決することができる製品であると判断し、2021年10月に契約するに至りました。

現場で実際に使用したところ、書類作成の業務軽減が確認できた以外に、アプリケーション上で接合要領書を閲覧でき、正しい順番で確実に施工管理を行うことができるという「施工管理のガイダンス」としての役割も確認することができました。

一方で、配管情報の入力手順に少し課題を感じており、㈱クボタに改善要望をあげていたところ、今回販売された「施工情報システムⅡ」ではリニューアルにより操作性が大幅に改善され対応管種も拡大しているため、より活用の方が広がるのではないかと期待しております。

＜有限会社山中水道建設
代表取締役社長 山中 直樹 様＞

～ 販売店様の取組 ～

「施工情報システムⅡ」は操作性や機能性が大幅に改善されており、さらにΦ500以上のNS形やポリエチレン管等も対応管種として追加されたため、販売機会が拡大し、競合他社との異なる差別化を図ることができると思いました。

そこで弊社としては、営業担当者の携帯端末に「施工情報システムⅡ」をインストールし、弊社の営業担当がお客様へ



直接デモを行うことができるよう社内勉強会を行い、全員が操作を習得しました。

今後は工事業者様に向け、販売店様と共にお客様のニーズをとらえた提案及びデモを通じて「施工情報システムⅡ」と管材の拡販に努めていきたいと考えております。

＜富士機材株式会社 九州支店 土木インフラ営業部
営業部長 遠田 修久 様＞